



自立運転操作説明編

[燃料電池発電ユニット]

形式名 TM1-AE-DP (都市ガス 13A・国産天然ガス)
TM1-AE-LP (LPガス)
TM1-AE-MP (都市ガス 12A)
TM1-AE-NP (都市ガス 13A)
TM1-AE-DB (都市ガス 13A・国産天然ガス)
TM1-AE-LB (LPガス)
TM1-AE-NB (都市ガス 13A)

[排熱利用給湯暖房ユニット]

形式名 FCG-203-D
SF-GTHC2412AD

も く じ	安全に正しく使用していただくために……………	2
	停電時の自立運転について……………	3
	停電時に電気を使う……………	5
	停電時は上手にお湯を使う……………	8
	排湯に関する設定……………	11
	計画停電のときに確実に発電させる……………	14
	自立運転中のリモコン表示……………	18
	停電が復旧したら……………	19
	故障かな?と思ったら……………	22

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- この説明書は「**停電時(自立)発電**」に関して停電したときに発電する方法、およびその発電時の取扱いについて説明しています。
通常使用時は別冊の機器本体操作説明編、およびリモコン操作説明編の「**取扱説明書**」に従って使用してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全に正しく使用していただくために


●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、重傷を負う危険、火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容です。	 注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。
 警告	人が死亡、重傷を負う可能性、火災の可能性が想定される内容です。	お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。


●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。


 禁止 「してはいけない」内容です。	 実行 「しなければならない」内容です。
--	--

危険

-  **ガス漏れに注意する** (火災や事故の原因)
●災害時などガス漏れのおそれがある場合は使用しない。

警告

-  **停電していないときに自立運転は絶対に行わない** (思わぬ事故の原因)
本来の機能やメリットが損なわれます。

-  **濡れた手で触らない** (感電する原因)
電源プラグを濡れた手で触らないでください。また、雨が降り出しているときに電源プラグを抜かないでください。

-  **自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する**

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外は自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。

自立運転時に突然電気が流れ、電気製品の破損や動作による事故の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む

(火災の原因)

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグは使用しないでください。

-  **自立運転専用コンセントに関する注意**

●自立運転専用コンセントには途中で電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれがある以下の機器は接続しない。

- ・すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・その他電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれのある機器

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。

●自立運転専用コンセントを商用電力線に接続しない (感電や発火などの原因)

自立運転専用コンセントと通常のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。

お願い

排熱利用給湯暖房ユニットの電源は屋内分電盤の「自立切換ボックス」と表示のある分岐ブレーカーから供給されています。排熱利用給湯暖房ユニットの電源を切るときは、屋内分電盤の「自立切換ボックス」と表示のある分岐ブレーカーを「OFF」にしてください。

リモコンの操作にあたっては別冊のリモコン操作編の取扱説明書も、あわせてお読みください。

停電時の自立運転について

エネファームが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気と貯湯タンクのお湯を使用することができます。

※ただし、自立運転のために必要な工事を行っている場合です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

<自立運転機能の種類について>

自立運転のための工事	×	○	○	○
自立切換ボックス(別売部品)の取り付け	×	×	○(GIB350)	○(GIB700)
自立運転機能	使用できません	350W仕様で使用できます	350W仕様で使用できます	700W仕様で使用できます
通常運転と自立運転の切り換え	使用できません	手動で電源プラグの差し替えが必要です	自動で行います	自動で行います

(GIB350)自立切換ボックス350
(GIB700)自立切換ボックス700

自立運転のために必要な工事を行っていても、発電停止中(※1)に停電した場合や自立運転開始後に発電が停止した場合は、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。(※2)
また地震などの災害でガスが止まった場合も発電できません。

- 自立運転時の発電量は約350Wまたは約700W(※3)です。
- 自立運転を開始すると**自立運転専用コンセント**(※4)に電気が供給されます。**5・6ページ**
- 停電が復旧してから約5分経過すると、**自立運転専用コンセント**への電気の供給が止まります。
「**停電が復旧したら**」を行ってください。**19・20・21ページ**
- 自立運転は停電時のみ使用してください。
- 安定して自立運転を続けるためには、貯湯タンクがお湯でいっぱいにならないように(※5)上手にお湯を利用してください。**8・9・10ページ**
- 断水時は給水・給湯栓を使用しないでください。
自立運転時に断水状態(※6)のまま水やお湯を使用すると、リモコンに故障表示「**260**」を表示して、発電量が不安定になることがあります。

※1エネファームが発電を停止しているときは以下のようなときです。

- ・ガスの供給が停止している場合
- ・マイコンメーターの安全機能確認により、自動で運転を停止(26日間のうち24時間以上連続で停止しなかった場合、1日停止します。)
- ・学習機能により自動で運転を停止(省エネのため)
- ・「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」や「**発電運転の設定**」で発電を停止している場合

※2エネファームが発電を開始するときは外部からの電力供給が必要です。

※3エネファームが使用する電気の量を含みます。実際に使用できる電気の量は少なくなります。

※4事前に自立運転専用コンセント設置場所を確認してください。「**エネファーム自立運転専用**」と表示しています。

※5エネファームは発電時の排熱を利用して貯湯タンクにお湯を貯めています。**貯湯タンクがお湯でいっぱいになった場合は、お風呂にお湯を出して発電を継続します。**

(お客様の設定によっては、お風呂にお湯を出さずに発電を停止する場合があります。)

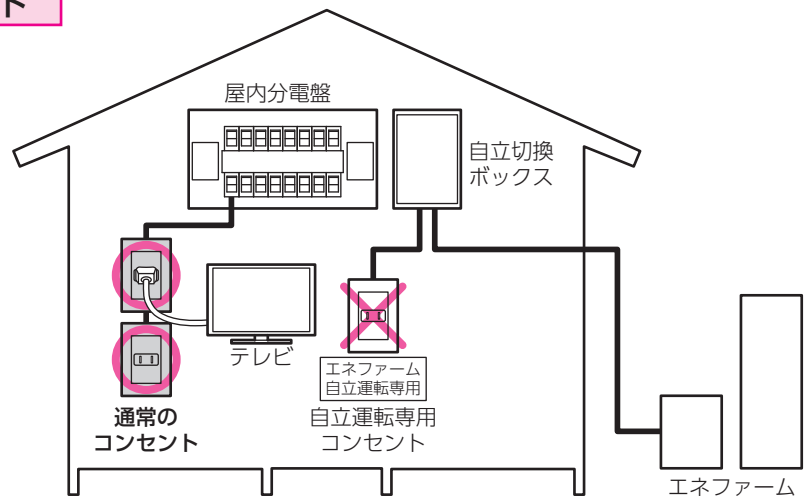
※6断水状態とは…停電や工事などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態のことです。

停電時の自立運転について

通常時/停電時に使用できるコンセント

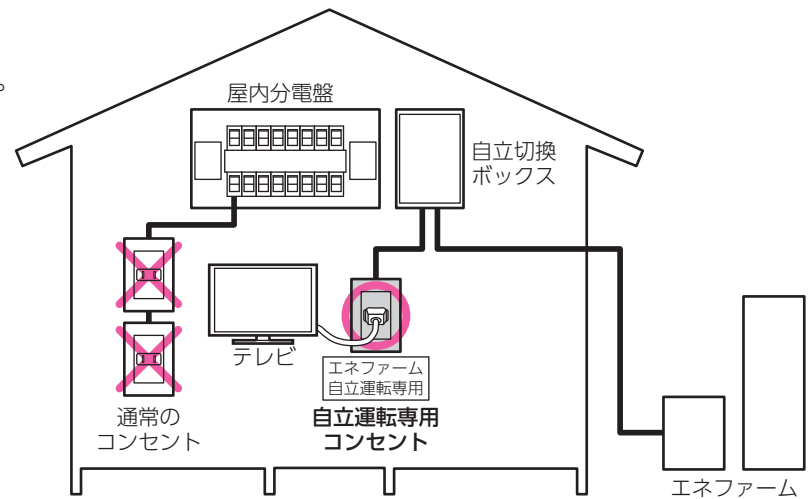
通常時

- 通常のコネクトを使用してください。
自立運転専用コンセントは使用できません。



停電時

- 自立運転専用コンセントを使用してください。
通常のコネクトは使用できません。



※図は自立切換ボックスを屋内に設置している場合です。

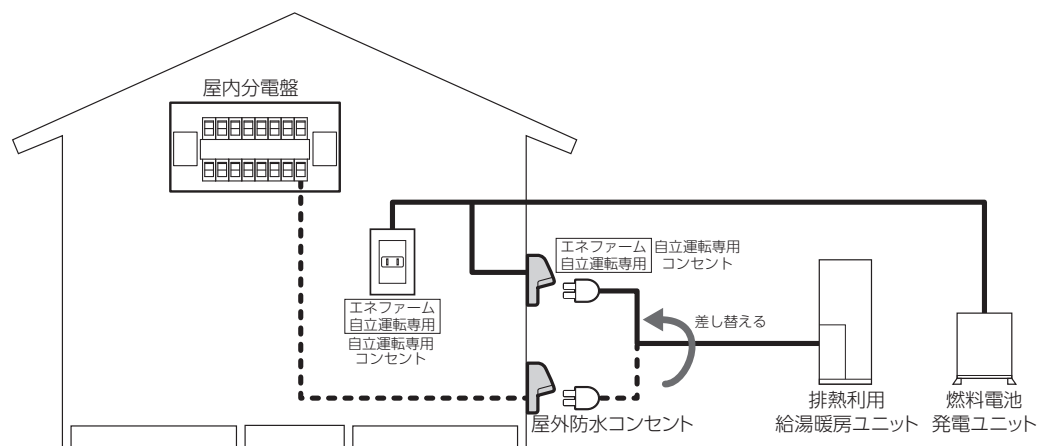
停電時に電気を使う

エネファームが発電中に停電した場合は、以下の手順に従って電気を使用してください。
お湯の使い方は通常の方法と変わりません。

※停電発生時、一度リモコンの表示画面は消えますが、数分後再度表示します。

1 排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグを差し替える

自立切換ボックス(別売部品)を取り付けている場合は、この作業は必要ありません。自動で切り換わります。停電が発生したら、30分以内に電源プラグを自立運転専用コンセントに差し替えてください。差し替えを行わないと、燃料電池発電ユニットは発電を停止することがあります。また、電源プラグを差し替えると、お湯が使用できるようになります。

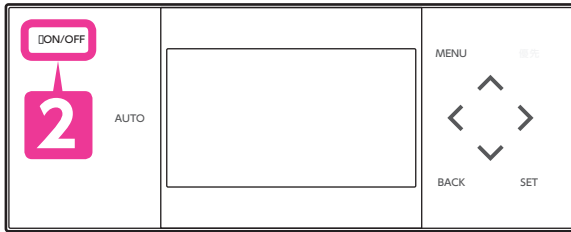


停電時に電気を使う

2 リモコンのスイッチを入れる

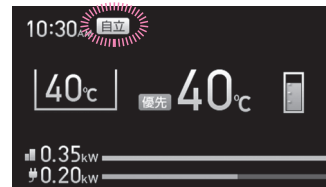
FCG-203-D型

カラー液晶リモコン



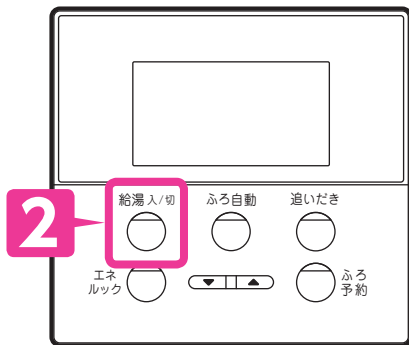
ON/OFFを押す (ON)

台所リモコン



●「自立」が表示されていることを確認してください。

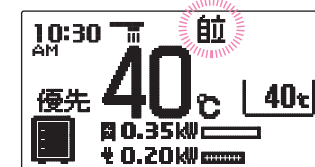
インターホンリモコン



給湯入/切

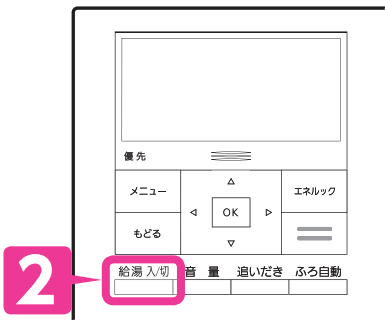
を押す (入)

台所リモコン



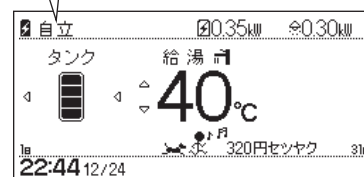
●「自立」が表示されていることを確認してください。

SF-GTHC2412AD型



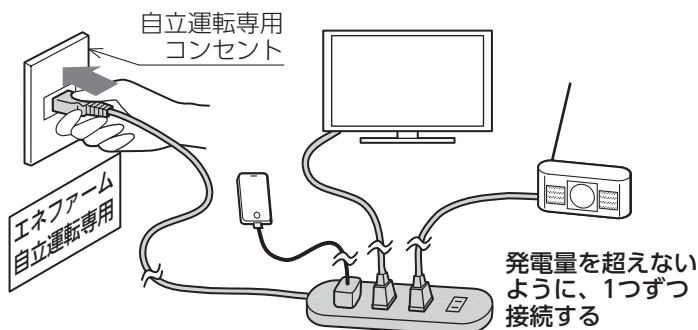
給湯スイッチを押す (入)

自立 ↔ 自立 交互表示



●「自立」が表示されていることを確認してください。

3 自立運転専用コンセントに電源プラグを差し込む



- 台所リモコンで発電状態を確認しながら使用したい電気製品を1つずつ接続してください。使用中も消費電力が発電量を超えないように、台所リモコンでこまめに発電状態を確認してください。
- 消費電力が発電量を超えたときは、一時的に電気が使えなくなります。そのまま一定時間経過すると発電が停止しますので、すぐに接続した電気製品を取りはずしてください。
- 停電中に発電が停止すると、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。

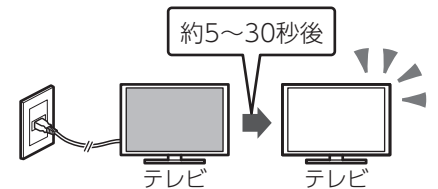
警告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない

- 自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれがある以下の機器は接続しないでください。
 - ・すべての医療用機器
 - ・灯油などを用いた暖房機器
 - ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
 - ・その他電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれのある機器

お知らせ

- 自立運転専用コンセントは停電時のみ使うことができます。
- 停電時に使用可能な電力はエネファームの消費電力と合わせて最大で約350Wまたは約700Wです。
(運転状態によってエネファームの消費電力は変わります。)
停電が発生すると発電量は250Wから上昇し始め、350Wになるには約4分、700Wになるには約15分かかります。消費電力の合計が発電量を超えないように**台所リモコンで発電量を確認しながら使用してください。**
なお、自立切換ボックス(別売部品)を取り付けていない場合は、排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグの差し替えを行わないと、発電量は250Wから上昇しません。
- 消費電力が発電量を大きく上回るときは約50秒後、発電量を少し(5%程度)上回るときは約5分後に発電を停止します。
- 電気製品の電源を入れたとき、電気製品の種類によってはすぐに使用できないことがあります。その場合は電源を入れたまま約5～30秒ほど待つてください。約30秒ほど待っても使用できない場合は、消費電力が発電量を超えています。すぐに使用する電気製品の数を減らしてください。この状態を10回繰り返すとエネファームは発電を停止し、**停電が復旧するまで再使用(発電)できません。**
また、この間に日付・時刻を入力する画面が表示されることがあります。その場合は設定を行ってください。(自立運転に支障はありません。)
- 自立運転中に発電を停止する場合は「**1.発電を停止する**」を行ってください。**14・15ページ**
ただし、**発電を停止すると停電が復旧するまで再使用(発電)できません。**



主な電気製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は電気製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電気製品の種類によっては、瞬間的に大きな電力負荷がかかるため、消費電力に関わらず使用できないものがあります。(洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力の目安(W)	参考型番	※1	※2
携帯の充電器	15	-	}	}
卓上LED照明	20	-		
ラジカセ	20	-		
ガスファンヒーター	30	-		
扇風機	40	東芝製 F-DLN100 は20W		
液晶テレビ	150	東芝製 32RE2 (32型) は90W		
冷蔵庫	400	東芝製 GR-E43G (427L) は211W		
保温ポット	900(湯沸し時)	東芝製 PLK-22DE (2L)	}	} ご使用できません
電気炊飯器	1100	東芝製 RC-10FE (5合炊き)		
ヘアードライヤー	1200	東芝製 HDH-PPR100		

※1：350W仕様で使用できる範囲です

※2：700W仕様で使用できる範囲です

注意

ガスファンヒーターの使用について

- ガスファンヒーターを使用中は部屋の換気に注意する。
必ず1時間に1～2回(1～2分)程度、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ガスファンヒーターを使用すると過負荷で自立発電が中断する場合は使用しない。
- ガスファンヒーターを使用中に停電が発生したときは、温風の吹出口や機器背面(エアフィルター部や取手部分)に手を触れない。(やけどのおそれ)
- 自立運転専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合は、すぐにガス栓を閉めてガスファンヒーターの使用を中止し、販売店またはよりのガス会社に連絡する。

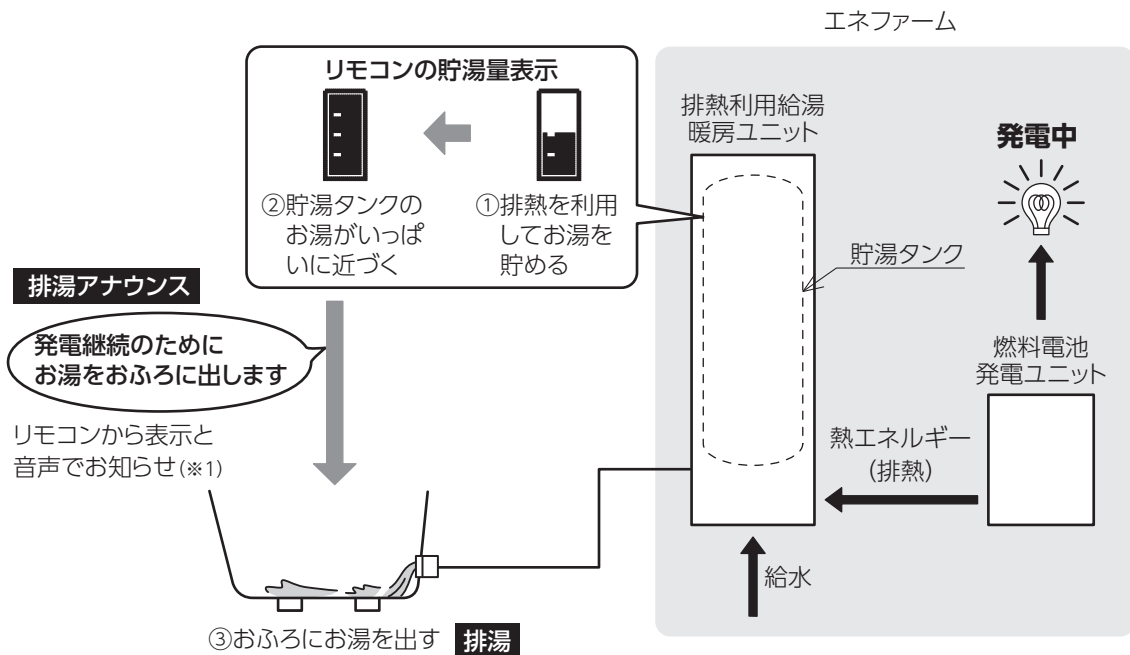
停電時は上手にお湯を使う

エネファームは発電と同時に発生する熱を利用して、貯湯タンクにお湯を貯めています。貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、発電が停止することがあります。

停電中に発電が停止すると、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。
貯湯タンクがお湯でいっぱいにならないように上手にお湯を利用してください。
自立運転中は排湯機能(※)により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

※排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音声(排湯アナウンス)でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。(排湯)
(お客様の設定によっては、音声でお知らせしなかったり、お風呂にお湯を出さないことがあります。)

排湯アナウンス・排湯について



※1：FCG-203-D型のみ。
SF-GTHC2412AD型の場合は、リモコンから表示と音“ピピッ”でお知らせします。

自立発電時の排湯を「する」に設定している場合

⚠️ 注意

- 排湯を「する」に設定している場合、浴そうからお湯があふれるなど、思わぬ事故に注意してください。

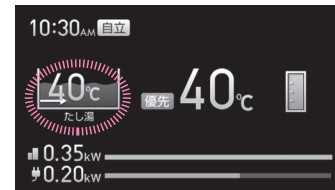
FCG-203-D型

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから「発電継続のためにお湯をおふろに出します」と表示と音声でお知らせし、おふろにお湯を約20リットル出します。

カラー液晶リモコン



⏸️ 発電継続のためにお湯をおふろに出します
(自立発電時の排湯アナウンスを「する」にしている場合)

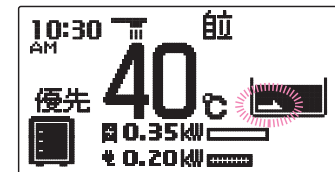


- おふろにお湯を約20リットル出します。

インターホンリモコン



⏸️ 発電継続のためにお湯をおふろに出します
(自立発電時排湯アナウンスを「する」にしている場合)



- おふろにお湯を約20リットル出します。

お知らせ

- 排湯と排湯アナウンスは「する」「しない」の設定ができます。 [11・12・13ページ](#)
- 排湯を開始するときにON/OFFスイッチが「OFF」になっていた場合、自動的に「ON」になります。排湯が終わってもON/OFFスイッチは「OFF」になりません。
- お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 設定したふろ温度のお湯を排湯しますが、ふろ温度の設定が40℃未満の場合は自動的に40℃に変更されます。
- ON/OFFスイッチを「OFF」にして排湯を停止しても、発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

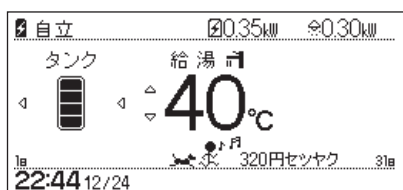
※インターホンリモコンの場合は給湯スイッチがON/OFFスイッチに相当します。

「リモコン操作説明編」の「各部の名称とはたらき」参照

SF-GTHC2412AD型

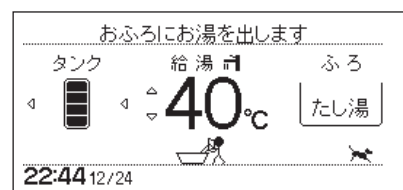
貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから「おふろにお湯を出します」の表示とお知らせ音“ピピッ”でお知らせして、浴そうに約20リットル排湯を行います。

台所リモコン



◀️ 各5秒 ▶️

「たし湯」とお湯はり表示



- 浴そうにお湯を約20リットル出します。

お知らせ

- 排湯動作/排湯のおしらせ音は「しない」「する」/「音なし」「音あり」の設定ができます。
- 排湯を開始するときに給湯入/切スイッチが「切」の場合、自動的に「入」になります。排湯が終わっても給湯入/切スイッチは「切」になりません。
- お湯を使用するときはリモコンの給湯設定温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- ふろ設定温度のお湯を排湯しますが、ふろ設定温度が40℃未満の場合は自動的に40℃に変更されます。
- 給湯入/切スイッチを「切」にして排湯を停止しても、発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

停電時は上手にお湯を使う

自立発電時の排湯を「しない」に設定している場合

FCG-203-D型

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから「お湯を使ってください」と表示と音声でお知らせします。発電を続けるためには、お客様ご自身で上手にお湯を使ってください。

カラー液晶リモコン



お湯を使ってください
(自立発電時の排湯アナウンスを「する」にしている場合)

インターホンリモコン



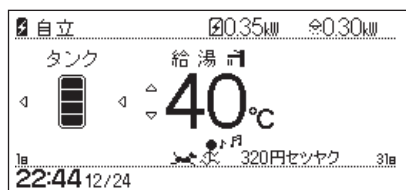
お湯を使ってください
(自立発電時排湯アナウンスを「する」にしている場合)

SF-GTHC2412AD型

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから「お湯を使ってください」の表示とお知らせ音“ピピッ”でお知らせします。

発電を続けるにはお客様ご自身で上手にお湯を使ってください。

台所リモコン



各5秒

「お湯を使ってください」を表示



上手なお湯の使い方

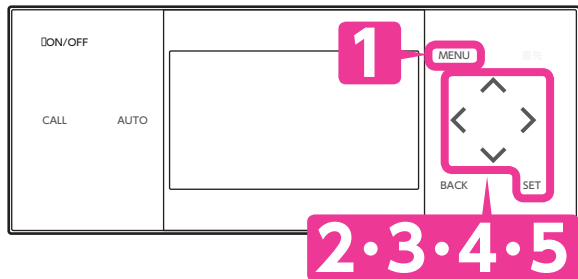
リモコンの貯湯量表示がいっぱいに近づいたら、お湯はりなどを行うと排熱を有効に利用することができます。

排湯に関する設定

発電を続けるための排湯動作やアナウンスの有無について設定ができます。

FCG-203-D型

カラー液晶リモコン



1 MENU を押す

2 < >で「発電」を選びSETを押す

3 ^ vで「自立発電排湯設定」を選びSETを押す

4 ^ vで変更したい設定を選びSETを押す

- 手動発電時の排湯……………発電モード「手動」で運転中に自動で排湯しない・するを設定
- 手動発電時の排湯アナウンス…手動発電時に排湯をするときにアナウンスしない・するを設定
- 自立発電時の排湯……………自立運転中に自動で排湯しない・するを設定
- 自立発電時の排湯アナウンス…自立運転中に自動で排湯をするときにアナウンスしない・するを設定

5 < >で内容を変更しSETを押す

手動発電時の排湯	手動発電時の排湯アナウンス	自立発電時の排湯	自立発電時の排湯アナウンス
変更されました	変更されました	変更されました	変更されました
<input type="checkbox"/> 買い求め時 <input type="checkbox"/> しない	<input type="checkbox"/> 買い求め時 <input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> 買い求め時 <input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> 買い求め時 <input type="checkbox"/> する

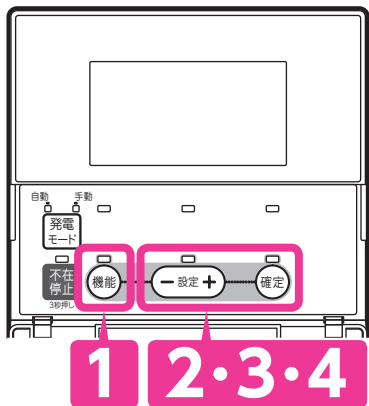
MENU を押す

●通常画面に戻ります。

排湯に関する設定

FCG-203-D型

インターホンリモコン



1 機能 を押す

2 - 設定 + で「発電設定」を選び 確定 を押す

3 - 設定 + で変更したい設定を選び 確定 を押す

- 手動発電排湯……………発電モード「手動」で運転中に自動で排湯しない・するを設定
- 手動発電排湯アナウンス…手動発電時に排湯をするときにアナウンスしない・するを設定
- 自立発電排湯……………自立運転中に自動で排湯しない・するを設定
- 自立発電排湯アナウンス…自立運転中に自動で排湯をするときにアナウンスしない・するを設定

4 - 設定 + で内容を変更し 確定 を押す

手動発電排湯	手動発電排湯アナウンス	自立発電排湯	自立発電排湯アナウンス
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="text-align: right;">740℃</div> <p>手動発電排湯</p> <p>[する]</p> </div> <p>変更されました</p> <p>設定内容 しない⇔する</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="text-align: right;">740℃</div> <p>手動発電排湯アナウンス</p> <p>[しない]</p> </div> <p>変更されました</p> <p>設定内容 しない⇔する</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="text-align: right;">740℃</div> <p>自立発電排湯</p> <p>[しない]</p> </div> <p>変更されました</p> <p>設定内容 しない⇔する</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="text-align: right;">740℃</div> <p>自立発電排湯アナウンス</p> <p>[しない]</p> </div> <p>変更されました</p> <p>設定内容 しない⇔する</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お買い求め時 しない</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お買い求め時 する</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お買い求め時 する</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お買い求め時 する</p> </div>

ふたを閉じる

- 通常画面に戻ります。
- 約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

SF-GTHC2412AD型

リモコンの操作にあたっては別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書「メニューの基本操作」を参照してください。

表示画面例

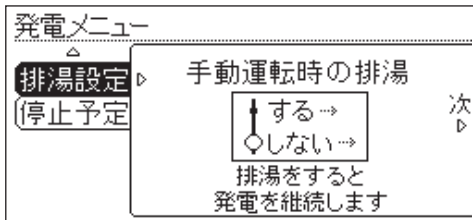


「**発電メニュー**」を選んでください。

排湯設定

設定できるリモコン **台所**

● 手動運転時の排湯の設定

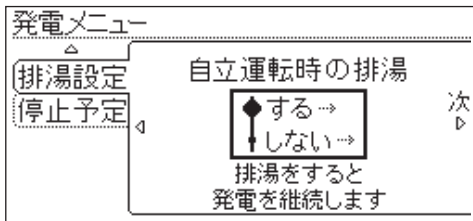


発電モードが「**手動**」で運転中に自動で排湯「**しない**」・「**する**」を設定。

》 **しくみ**

- 初期設定(工場出荷時) = しない

● 自立運転時の排湯の設定



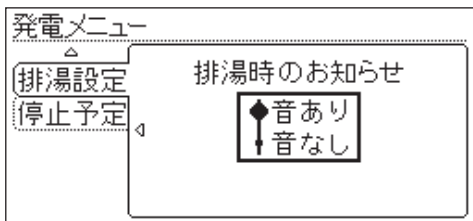
自立運転中に自動で排湯「**しない**」・「**する**」を設定。

》 **しくみ**

- 初期設定(工場出荷時) = する

● 排湯時のお知らせ音の設定

設定できるリモコン **台所**



排湯をするときのお知らせ音の「**あり**」・「**なし**」を設定。

》 **しくみ**

- 初期設定(工場出荷時) = 音あり

計画停電のときに確実に発電させる

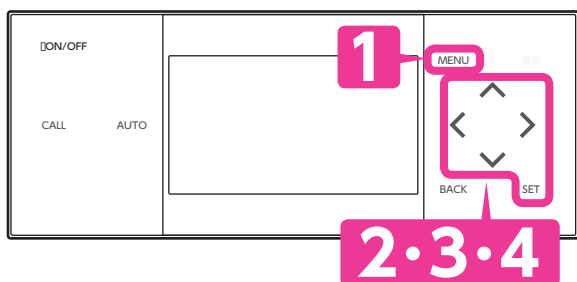
事前に停電することがわかっている場合は、以下の操作を行うと停電のときに確実に発電させることができます。

1. 発電を停止する

- 停電予定日の2~3日前に発電を24時間以上停止してください。
(マイコンメーターの安全機能確認により、自動的に発電が停止することを防ぐために必要な操作です。)

FCG-203-D型

カラー液晶リモコン

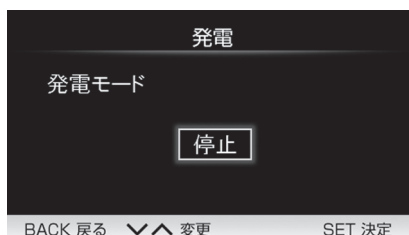


1 MENU を押す

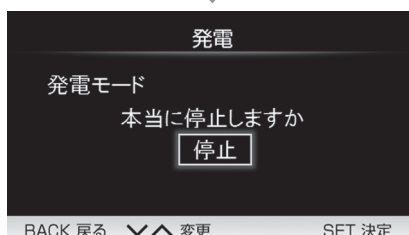
2 < > で「発電」を選び SET を押す

3 で「発電モード」を選び SET を押す

4 で「停止」を選び SET を押す



設定内容
自動 ↔ 手動 ↔ 停止



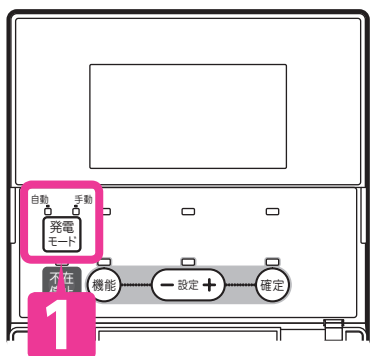
● 誤操作防止の確認画面を表示します。

🔊 変更されました

MENU を押す

- 通常画面に戻ります。

インターホンリモコン

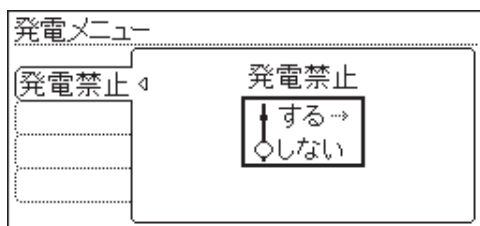


1 発電モード を約5秒間押す

- 自動ランプ・手動ランプが消灯します。
- 発電表示が点滅し、発電はすぐに停止しますが、燃料電池発電ユニットはしばらく停止移行運転を続けます。
- 燃料電池発電ユニットが停止すると発電表示は消灯します。

SF-GTHC2412AD型

リモコンの操作にあたっては別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書「メニューの基本操作」を参照してください。



1 「発電メニュー」を選ぶ

2 左の画面を表示させる

3 「する」に設定する。

お知らせ

- 24時間以上停電した場合は、停電復帰後発電モードは「自動」に設定されます。

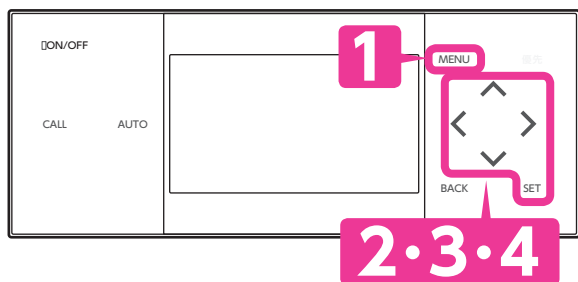
計画停電のときに確実に発電させる

2.発電モードを「手動」にする

●学習機能による省エネ運転で発電を停止させないために、停電予定時間の2時間以上前に発電モードを「手動」に切換ええると連続発電します。

FCG-203-D型

カラー液晶リモコン



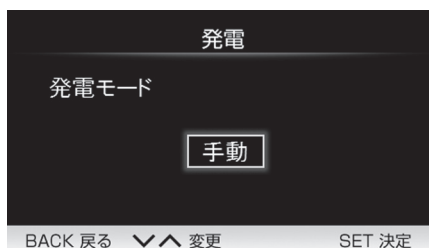
1 MENU を押す

2 < >で「発電」を選びSETを押す

3 で「発電モード」を選びSETを押す

4 で「手動」を選びSETを押す

設定内容
自動↔手動↔停止

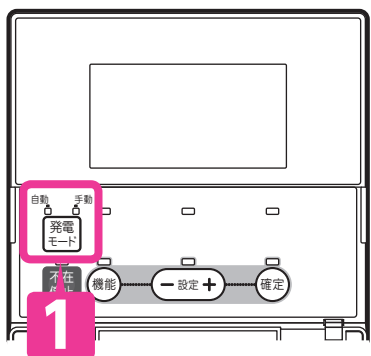


変更されました

MENU を押す

●通常画面に戻ります。

インターホンリモコン

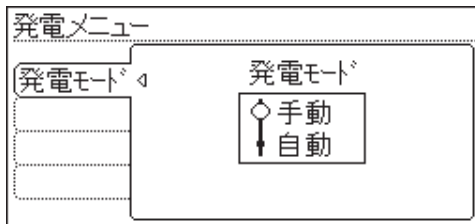


1 発電モード を押して「手動」にする

●手動ランプが点灯します。

SF-GTHC2412AD型

リモコンの操作にあたっては別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書「メニューの基本操作」を参照してください。



1 「発電メニュー」を選ぶ

2 左の画面を表示させる

3 「手動」に設定する。

お知らせ

- 直近のお湯の使用量が少ないときは「手動」にしても発電しないことがあります。あらかじめお客様ご自身で上手にお湯を使ってください。
- 自立運転が行えない場合でも、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。自立運転中に貯湯タンクのお湯(水)を取出す場合は、自立運転を停止する必要があります。ただし、停電中に発電を停止すると停電が復旧するまで運転を再開することができません。(別冊の機器本体操作説明編の取扱説明書「災害時などに貯湯タンクからお湯を取出す」参照)

3.手動発電排湯の設定を「する」に変更する 11・12・13ページ

貯湯量表示がいっぱいになると、リモコンの表示と音声でお知らせします。

- 手動発電時の排湯(インターホンリモコンでは手動発電排湯)を「する」にしている場合、貯湯タンクがお湯でいっぱいになると自動で排湯します。
- 手動発電時の排湯(インターホンリモコンでは手動発電排湯)を「しない」にしている場合、貯湯タンクがお湯でいっぱいになると発電を停止します。停電中に発電を停止すると停電が復旧するまで再使用(発電)できません。

お知らせ

- 排湯を開始するときにON/OFFスイッチが「OFF」になっていた場合、自動的に「ON」になります。お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。排湯が終わってもON/OFFスイッチは「OFF」になりません。
- ふる温度のお湯を排湯しますが、ふる温度が40℃未満の場合は自動的に40℃に変更されます。
- ON/OFFスイッチを「OFF」にして排湯を停止しても、発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

※上記はFCG-203-D型のカラー液晶リモコンのときです。

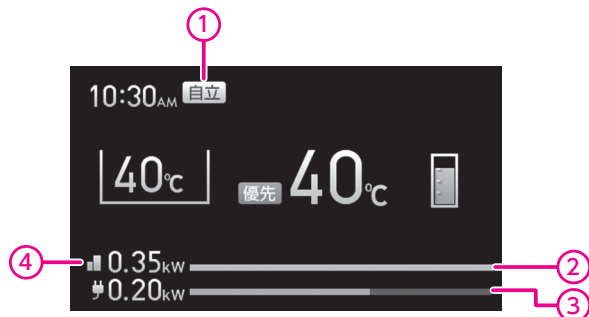
FCG-203-D型のインターホンリモコン、SF-GTHC2412AD型のときは、ON/OFFスイッチが給湯スイッチになります。「リモコン操作説明編」の「各部の名称とはたらき」を参照してください。

自立運転中のリモコン表示

FCG-203-D型

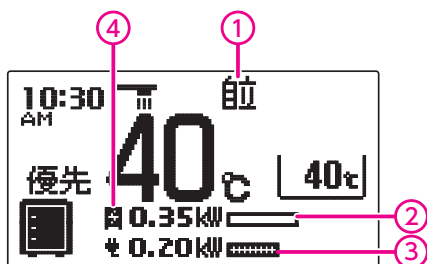
カラー液晶リモコン

●台所リモコンのON/OFFスイッチを「ON」にしたときは、以下の表示になります。



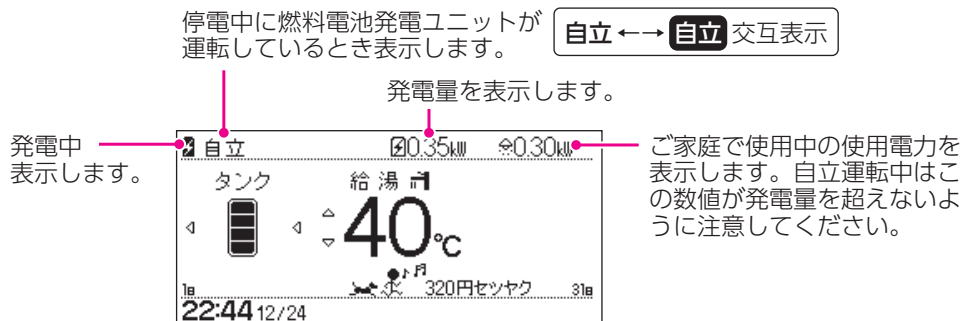
インターホンリモコン

●台所リモコンの給湯スイッチを「入」にしたときは、以下の表示になります。



①自立運転表示	停電中に燃料電池発電ユニットが運転している場合、「自立」の文字を表示します。
②発電量表示	発電量を表示します。
③電気使用量表示	ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。自立運転中はこの数値が発電量を超えないように注意してください。
④発電状態表示	発電状態を表示します。

SF-GTHC2412AD型



停電中にエネファームが発電を停止しているとき

●電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。
自立運転中にエネファームが停止した場合も電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。
(故障表示も表示されません。)

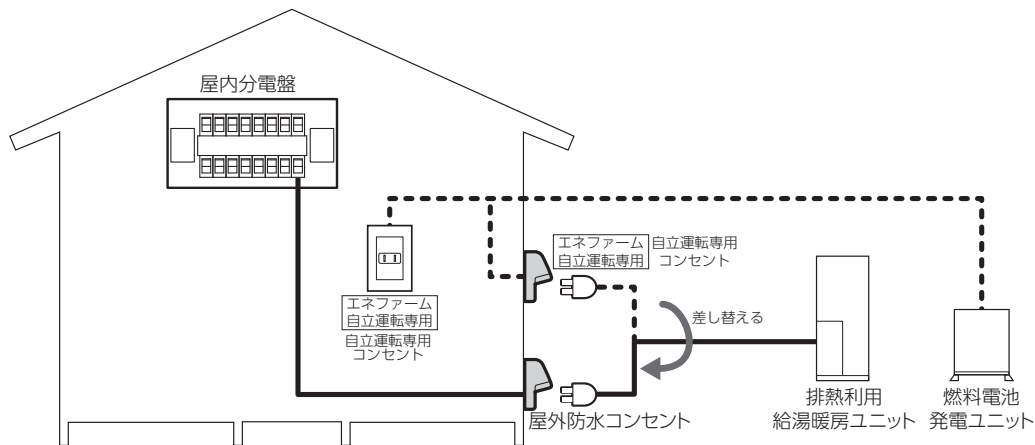
自立運転中に断水したとき

●リモコンに故障表示「260」を表示したあと、発電量が不安定になることがあります。

停電が復旧したら

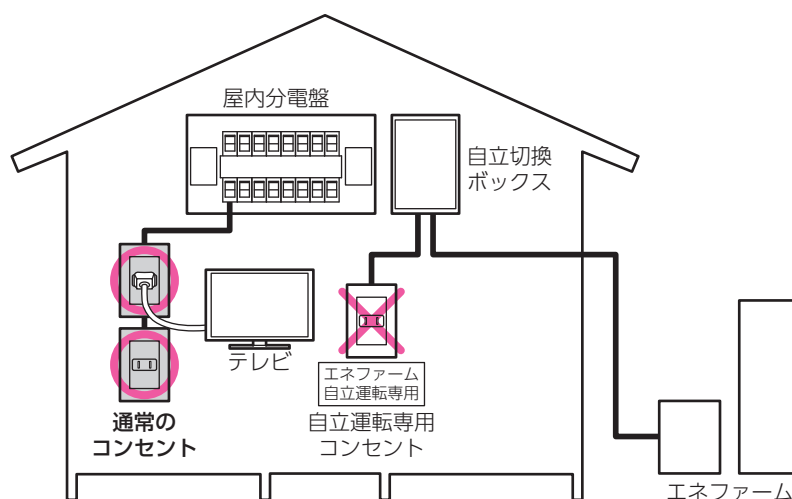
1.排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグを差し替える

自立切換ボックス(別売部品)を取り付けている場合は、この作業は必要ありません。自動で切り換えが行われます。停電が復旧したら、すみやかに電源プラグを屋外防水コンセントに差し替えてください。差し替えを行わないと、燃料電池発電ユニットは発電を停止することがあります。また、電源プラグを差し替えると、お湯が使用できるようになります。



2.自立運転専用コンセントから電源プラグを抜く

- 電気製品を自立運転専用コンセントに接続したままにすると、次回の自立運転時に突然電気が流れ、電気製品の損傷や動作による事故の原因になりますので、電源プラグを抜いてください。
(停電が復旧して約5分経過すると、自立運転専用コンセントへの電気の供給は自動的に止まり、通常のコンセントに電気が供給されます。)



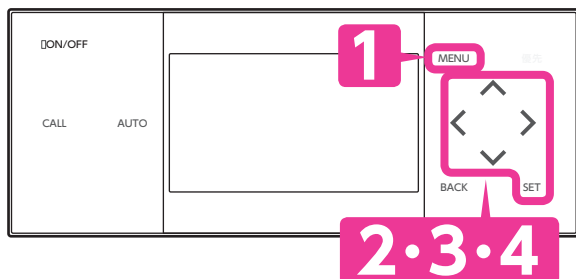
※図は自立切換ボックスを屋内に設置している場合です。

停電が復旧したら

3.発電モードを「自動」にする

FCG-203-D型

カラー液晶リモコン



1 MENU を押す

2 < >で「発電」を選びSETを押す

3 ↑で「発電モード」を選びSETを押す

4 →で「自動」を選びSETを押す

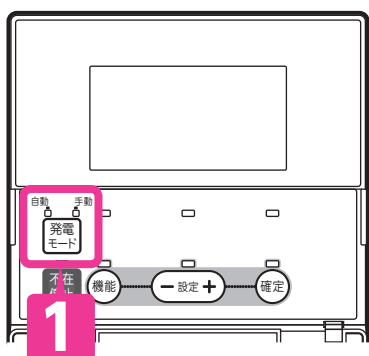
設定内容
自動↔手動↔停止



MENU を押す

●通常画面に戻ります。

インターホンリモコン

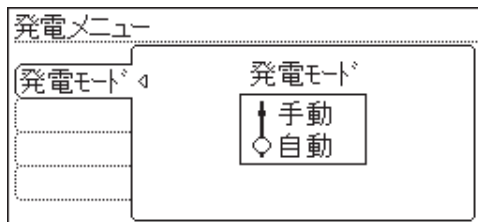


1 発電モードを押して「自動」にする

●自動ランプが点灯します。

SF-GTHC2412AD型

リモコンの操作にあたっては別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書「メニューの基本操作」を参照してください。



1 「発電メニュー」を選ぶ

2 左の画面を表示させる

3 「自動」に設定する。

お知らせ

●「自動」に設定後、学習制御機能により発電を行わない場合があります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

	こんなときは	確認してください
停電中	自立運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電化製品を通常のコンセントに接続していると使用できません。自立運転専用コンセントに接続してください。 ●自立切換ボックスを設置していないときは、排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグを差し替える必要があります。停電が発生したら30分以内に電源プラグの差し替えを行ってください。5ページ ●自立運転専用コンセントに接続している電気製品の消費電力が発電量を超えている可能性があります。すみやかに接続した電気製品を取りはずしてください。取りはずさないと、電気製品の消費電力が発電量を超えた状態が続いたときに発電を停止します。停止すると停電中は再び発電を行うことができませんので、ご注意ください。 ●下記の場合は自立運転ができません。(停電が復旧するまで電気を使うことができません) <ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合 ・ガスの供給が停止している場合 ・マイコンメーターの安全機能確認により発電を停止している場合 ・「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」や「発電運転の設定」で発電を停止している場合 ・学習により発電停止した場合
	自立運転中にリモコンの表示画面が消えた	<ul style="list-style-type: none"> ●自立運転専用コンセントに接続している電気製品の消費電力が発電量を超えている可能性があります。すみやかに接続した電気製品を取りはずしてください。取りはずさないと、電気製品の消費電力が発電量を超えた状態が続いたときに発電を停止します。停止すると停電中は再び発電を行うことができませんので、ご注意ください。 ●燃料電池発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は「故障表示」に従って処置を行ってください。
	自立運転中に時刻設定画面になった	<ul style="list-style-type: none"> ●自立運転専用コンセントに接続している電気製品の消費電力が発電量を超えた状態がしばらく続くと、時刻がリセットされることがありますので、時刻の設定を行ってください。
	ふろ自動運転、たし湯運転を行っていないのに循環アダプターからお湯が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●発電設定で自立発電排湯を「する」に設定しているため、自立運転時に発電を停止しないようにお風呂にお湯を出します。 ●発電設定で手動発電排湯を「する」に設定しているため、手動発電時に発電を停止しないようにお風呂にお湯を出します。
	お風呂に排湯しているのにアナウンスしない	<ul style="list-style-type: none"> ●自立発電排湯設定で手動発電時、自立発電時の排湯アナウンスを「しない」に設定しているためです。11・12・13ページ
	リモコンから「お湯を使ってください」と表示とアナウンス(※1)が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●貯湯量表示がいっぱいに近づいています。発電を続けるためには、お客様ご自身で上手にお湯を使ってください。
停電復旧後	電化製品の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電化製品を自立運転専用コンセントに接続していると使用できません。通常のコンセントに接続してください。
	リモコンの表示画面が消えている	<ul style="list-style-type: none"> ●自立切換ボックスを設置していないときは、排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグを差し替える必要があります。すみやかに電源プラグの差し替えを行ってください。19ページ

※1：FCG-203-D型るとき。SF-GTHC2412AD型るときはお知らせ音“ピピッ”。

●リモコンに故障表示が表示された場合は、別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書「故障表示一覧表」に従って使用してください。